

県内唯一の「指定給水装置工事事業者」の技術者育成機関

令和6年度

第39期入校案内



千葉県知事認定職業訓練施設

千葉県建築設備高等技術専門校

業界を挙げて取り組む、 技術の継承

千葉県建築設備高等技術専門校
校長 白倉 進



本校は昭和60年に職業能力開発促進法第24条に基づく千葉県知事認定の職業訓練施設として開校し、県内唯一の「指定給水装置工事事業者」技術者育成として、これまでの37年間の訓練を通して1,009名の修了生を輩出しております。

また、管工事業界の「技術保有集団」として、総合専門技術者の養成と人材の育成確保を旨とし、管工事に関する正しい基礎理論、専門の知識並びに技能の訓練を系統的且つ一元的に行っております。

特に、技能の証となる、国家資格「給水装置工事主任技術者」及び「管工事施工管理技士」の資格編については、各専門分野より講師を委嘱し、試験日に照準を合わせたカリキュラム編成を徹底するなど、効率的な履修体系のもと訓練を実施しております。

加えて、技術の研鑽を目的として開設した千葉県水道技術研修センターでは、「千葉県企業局不排水穿孔技能者講習」を実施するなど、業界を挙げて技術の継承にも取り組んでおります。

更には、現場の安全管理に即応する「地山の掘削及び土止め支保工作業主任者」「職長・安全衛生責任者講習」「アーク溶接」「小型車両建設機械」などの安全衛生関係資格も積極的に取り入れ、在学中に取得が可能となっております。

また、修了後においても「技能検定2級建築配管」では学科が免除となり、「給水装置工事配管技能検定会」では、実技の一部免除を受けて、受検できる特典が与えられるなど、在学中だけでなく修了後にも資格取得が目指せる環境となっております。

1年間で約71日の訓練は、所属事業所における本来の仕事との両立となり、様々な制約の中で大変厳しいものではあります。業界を挙げて取り組む本校の運営にご理解を頂き、後継者並びに従業員の技能の向上・能力開発については所属事業所の業務拡大のためにも本校を積極的に活用頂きますようお願いいたします。

技術の継承と 優秀な人材の育成

千葉県商工労働部長
野村 宗作



水道施設をはじめとする社会インフラは、県民生活や社会経済活動に欠かせない重要なライフラインでもあり、近年多発している台風や大雨等により被害を受けた際には、迅速かつ的確な復旧が求められます。また、施設の多くが、高度経済成長期に集中的に整備されたものであることから、老朽化が進む中で、計画的な維持管理・更新及び耐震化を進めていく必要があります。

こうした取組を着実に進めていくためには、何より技術者を確保していかなければなりません。また、これからの技術者には、先達の培ってこられた技能の継承はもちろん、技術の高度化やデジタル化のさらなる進展も踏まえ、時代に即応した知識や技術の習得も求められております。

千葉県建築設備高等技術専門校は、昭和60年の開校以来、職業能力の開発・向上や人材育成に積極的に取り組んでこられた結果、数多の優秀な技術者を輩出されており、優れた認定職業訓練施設として平成2年に労働大臣表彰を受賞するなどの輝かしい実績もお持ちです。

これらはひとえに、歴代の校長先生をはじめ、豊富な知識と経験をお持ちの先生方の丁寧な御指導の賜物であり、基礎から実践までの一貫した訓練により、今後の本県経済の発展を力強くけん引する人材を育成する専門校として、県としても大いに期待しているところです。

入校を志す皆様におかれましては、本専門校において、職業人として必要な知識や技術を身に付け、本県産業界において高い志を持って活躍されますよう、心から祈念申し上げます。

修了生からのメッセージ

第35期
齊藤 拓生



本専門学校では、学科だけでなく実技や講習、工場見学などもあり、とても良い経験が出来ました。

学科も基礎的なこと専門的なこと、管工事・土木工事・設計などと幅広く様々でした。各科目それぞれ専門分野の講師が来てくれるため、分かりやすい授業が多かったです。

また、会社も年齢も違うけれど同じ業界の仲間が増えたことも嬉しかったです。

実習中に相談ができたり、仕事での楽しいことや大変なことを共感できたりと良い仲間が増えました。社会人になってから、仕事に直結する勉強ができることも、しっかりと資格の勉強をする機会があることも、現場以外での新しい仲間と出会えることも、全て貴重です。

長いようであっという間ですが、専門学校で充実した1年を過ごしてください。

第36期
吉田 文哉



本専門学校での講義は、大変有意義な時間であり、実技講習も多く非常に勉強になりました。

私は業界での経験が浅く、素人同然でありましたが、本校に通い、まだまだ未熟ではありますが、管工事業界で働く技術者として、仕事に取り組むための専門的なスキルを身に着けることができたと自負しております。

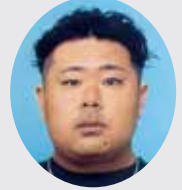
また、講義内容が資格取得に直結しており、多くの資格を取得することができました。

そして、豊富な知識と経験を有する講師の方々のご指導により、仕事に結びつく実践的な技術を学ぶことができ、深く感謝しております。

仕事との両立は少し大変な部分もありますが、業界で働く仲間たちに出会う貴重な体験ができます。一年間頑張ってください。

皆様のご活躍を心より応援しております。

第37期
齋藤 圭吾



私は管工事における知識、資格を取得する過程において、当専門学校で学ぶことがより良い選択だと考え、入学することを決めました。

入学当初の私は、まだまだ管工事の経験が浅く、無知であった為、講義についていけるのか不安ではありましたが、熱意ある諸先生方の手厚い指導、共に、時には協力し合いながら、仲間たちと学習していくことで、日々自分の成長を感じられるようになりました。

また理論的な部分だけでなく、各種実習、見学等、技術面でのサポートもあり、そのような経験ができることは、この業界で働く上ではもちろんのこと、これから入学される皆様にとっても、必ず自分の財産になるはずで

これからの管工事業界の一旦を担えるような人材になる私にとって当専門学校での1年間はそのような目標を持てるようになった有意義な時間でした。

皆様にとっても、充実した1年間になるとと思います。業界発展に貢献できるよう共に頑張りましょう。

本校へ入校・修了後に目指せる資格

専門学校で学ぶ

在学中に
取得を推奨



- JDPA継手接合現地団体研修
(千葉県企業局水道部発注の配水管工事における「配管(耐震管路継手)技能者」として認められる)
- 管工事施工管理技士
- 給水装置工事主任技術者

修了後に
取得を推奨



- 土木施工管理技士
- 技能検定 建築配管技能士
(2級は学科及び実務経験の免除)

修了時に
取得



- 不断水穿孔技能者講習
(千葉県企業局水道部発注の配水管工事における「不断水穿孔技能者」として認められる)

本校の概要

訓練科名	設備施工系配管科
訓練期間	1年間(令和6年4月～令和7年3月)
訓練日	毎週火曜日及び第一・第三土曜日
訓練時間	午前8時50分～午後5時
定員	40名
入校資格	<ul style="list-style-type: none">・本校協賛団体構成事業所及び構成事業所の推薦する事業所の後継者・従業員で原則として実務経験2年以上(令和6年4月1日現在)を有する者。・高等学校卒業者、または同等以上の学力を有する者。・令和6年度以降に管工事/土木施工管理技士を受験する者。・雇用保険の被保険者である者。

訓練内容と対応資格

基礎技術編	■ 配管技能士(技能検定2級)
管工事編	□ 管工事施工管理技士
給水装置工事主任技術者編	□ 給水装置工事主任技術者
土木編	□ 土木施工管理技士
排水設備編	□ 下水道排水設備責任者
配水管工編	<input checked="" type="checkbox"/> JCPA接手接合現地団体研修会 <input checked="" type="checkbox"/> 千葉県企業局認定 不断水穿孔技能者 ■ 給水装置工事配管技能検定会
安全衛生関係等資格編	<input checked="" type="checkbox"/> 地山の掘削及び土止め支保工作業主任者 <input checked="" type="checkbox"/> 職長・安全衛生責任者 <input checked="" type="checkbox"/> 小型車両系建設機械 <input checked="" type="checkbox"/> アーク溶接

- カリキュラムに特別教育(受講資格を有する受講者のみ)として、訓練内で取得可能な資格
■修了生の特典として一部試験内容に免除があるため、訓練修了後に受検を推奨している資格
□受験資格を有する訓練生は、訓練期間中に積極的な受験を推奨資格

本校修了の特典

1. 国家検定『**技能検定建築配管技能士**』の二級技能検定の学科試験並びに実務経験が免除。
2. 千葉県企業局の配水管工事施工の際に必要な『**不断水穿孔技能者**』として認められる。
3. 『**給水装置工事配管技能検定会**』の受検資格が得られ、実技検定の一部が免除。
4. 成績優秀者には、千葉県知事賞・千葉県企業局長賞・千葉県職業能力開発協会会長賞が授与される。

千葉県建築設備高等技術専門校

令和6年度 入 校 願

年 月 日

千葉県建築設備高等技術専門校
校 長 様

申込事業所

事業所名

所在地 〒□□□-□□□□

代表者名

印

電話番号

F A X

MA I L

第39期生として貴専門校へ下記の者を入校させたいので、書類を添えて申込みます。

入校希望者氏名	
現 住 所	〒□□□-□□□□

該当する箇所に○印をつけて下さい。

申込事業所との関係（子弟 社員 その他）

所属団体

- 千葉県水道管工事協同組合
- (一社) 千葉県浄化槽協会
- そ の 他

- 千葉県管工事業協同組合連合会
- (一社) 千葉県空調衛生工事業協会

推 薦 書

※その他に該当する方は、当校協賛団体（上記4団体）の構成事業所より下記推薦証が必要となります。

千葉県建築設備高等技術専門校
校 長 様

上記の申込事業所を推薦しますので、入校資格を与えて下さるようお願い申し上げます。
所属団体（該当する所属団体に○印をつけて下さい）。

事業所名
所在地
代表者名

- 千葉県水道管工事協同組合
- (一社) 千葉県浄化槽協会

- 千葉県管工事業協同組合連合会
- (一社) 千葉県空調衛生工事業協会

注：裏面の履歴事項を記入して下さい。

注：入校の諾否後、提出書類及び授業料を添えて入校手続きをして下さい。

注：複数の入校希望者の場合は、別途ご連絡ください。

〔提出書類〕写真1枚

履 歴 書

よこ 3cm
たて 3.5cm

氏名	ふりがな	世帯主		続柄	
本籍地	都・道・府・県	性別	男・女	生年月日	昭和・平成 年 月 日生 (満 才)
現住所	ふりがな				
	〒□□□-□□□□ TEL : () MAIL :				
最終学歴	学 校 名	学科又は 課 程	所 在 地	卒 業 年 次	卒 業 ・ 卒 業 見 込 等 の 別
				S H R	
職歴	事 業 所 名	事業内容	所 在 地	在 職 期 間	職 務 内 容
	(現在)		〒□□□・□□□□ TEL : FAX : MAIL :	自 至	
	(過去)			自 至	
	(過去)			自 至	
※ 雇用保険被 保険者番号	□□□□-□□□□□□□□-□		※ 雇用保険 事業所番号	□□□□□□-□□□□□□□□□□-□	
	(加入年月日 年 月 日)				
業界に 関する 免許 資格	年 月 日	事 項			
備 考					

(注) この履歴書はボールペンの楷書体で自筆し、年号は日本歴とする。
 学歴は最終学歴を記入し、職歴は新しい順に記入すること。尚、最終学歴が専門校の場合については、その前の学歴を記入して下さい。免許、資格等の記入については当業界に於ける免許資格のみとする。
 (注) ※印の雇用保険番号等については加入していない場合は未加入、
 労災保険の特別加入者の方につきましては、加入者番号を記入して下さい。

カリキュラム

当校では、国家資格等の資格取得を第一の目的として、**国家資格受験日に照準を合わせたカリキュラム編成**(土木編、排水設備責任者を除く)により訓練を実施しております。

また各編の修了時には、当校独自の修了試験を実施しており、国家試験前の予備試験として好評を得ております。

【編名】総訓練時間(時限)	科目	(訓練時間)
【基礎技術編】 36時限	学力考査	(4)
	上水道概論	(4)
	配管施工法1	(12)
	配管施工法2	(4)
	配管実技	(8)
	基礎概論	(4)
【課外研修】 8時限	課外研修(工場見学)	(8)
【管工事編】 184時限 ~R5年度日程~ 授業実施期間 5/16~8/29・10/14・11/10(24日間) 国家試験日 1級1次:9/3、2次:12/3 2級1次・2次:11/19	設備原論	(32)
	空気調和・換気	(24)
	上水道、給水・給湯	(8)
	水道法	(4)
	下水道排水設備、通気	(8)
	消火設備	(4)
	ガス設備	(4)
	浄化槽	(4)
	電気工学	(8)
	建築学	(8)
	設備に関する知識	(16)
	施工管理	(24)
	建設業法・その他	(4)
	2級実地	(4)
	総集仕上げ	(12)
	建築基準法	(4)
	下水道法	(4)
	消防法	(4)
	労働安全衛生法	(4)
	労働基準法	(4)
【給水装置工事主任技術者編】 48時限 ~R5年度日程~ 授業実施期間 9/1~10/3(7日間) 国家試験日:10/22	公衆衛生概論	(4)
	水道行政	(4)
	給水装置工事事務論	(4)
	給水装置施行管理法	(4)
	給水装置の構造及び性能	(8)
	給水装置の概要	(4)
	給水装置工事法	(8)
	給水装置計画論	(8)
【土木編】 56時限	土木一般	(16)
	専門土木	(8)
	法規	(8)
	共通工学	(8)
	施工管理	(16)
	積算	(16)
【製図技術編】 88時限	申請図・施工図	(48)
	CAD	(24)
	穿孔実技	(16)
【配水管工編】 24時限	JDPA継手接合研修会	(8)
【排水設備編】 8時限	排水設備責任技術者	(8)
【安全衛生関係等資格編】 80時限	地山の掘削及び土止め支保工	(24)
	アーク溶接	(24)
	車両系建機	(16)
	職長・安全衛生責任者	(16)

募集要項

①募集人員	定員40名 注：定員を大きく割り込む場合、開校しないこともありますので、予めご了承ください。	⑤入校納付金等 ≪入校決定・納付金【一括前納制】≫ (2月中旬案内予定) ○構成事業所 142,000円 ○その他の事業所 284,000円 (注)雇用保険未加入者については補助金相当額の費用負担をしてもらう事となります。 (注)入校納付金納付後に入校を辞退する場合は入校事務手数料・教材費(発注済の場合)を差し引いた額を返金することとなります。 ≪その他、入校後に要する費用(予定)≫ ○認定職業訓練生災害保険料8,550円 ○課外研修 6,000円 【希望者のみ】 ○職長・安全衛生責任者 17,500円 ○地山の掘削及び土止め支保工作業主任者 17,840円 ○アーク溶接 22,000円 ○小型車両系建設機械 17,000円 ○JDPA継手接合技術研修会35,000円
②応募資格	▶本校協賛団体の構成事業所及び構成事業所の推薦する事業所の後継者・従業員で原則として実務経験2年以上(令和6年4月1日現在)を有する者。 ▶高等学校卒業者、または同等以上の学力を有する者。 ▶令和6年度以降に管工事・土木施工管理技術検定試験を受験する者。 ▶雇用保険の被保険者であること。	
③申込方法 必要書類	「入校願書」に必要事項を記入、写真1枚(よこ3cm×たて3.5cm)を添えて本校事務局へ提出ください(郵送可)	
④申込期限	令和5年12月15日(金)必着 (定員に達しない場合令和6年1月上旬まで受付)	

訓練生派遣事業主給付金制度

●人材開発支援助成金制度 (千葉労働局)

- ①特定訓練コース 助成額 760円×訓練実施時間数
 ②建設労働者認定訓練コース 助成額 3,800円×出席日数

助成額 約60万円(①+②)

訓練生を派遣する事業主が受給出来る制度です。
 次の4項目を満たしていれば対象となります。

1. 訓練生が雇用保険の被保険者
2. 所定労働時間内に授業を受けさせ、通常賃金を支払う事
3. 1年間の訓練を修了すること(年間出席率80%以上)
4. 事前に訓練計画の認定を受けること

**※申請締切 入校式の1ヶ月前まで
(訓練開始前の事前申請となります)**

〈案内図〉



〔交通機関〕

- ①JR本千葉駅下車 徒歩20分(約1.3km)
- ②京成千葉中央駅下車 徒歩20分(約1.5km)
- ③JR千葉駅(東口)下車 バス乗車15分+徒歩3分(約2.2km)
 ※11番線・新港行乗車、卸団地会館下車
- ④JR京葉線千葉みなと駅下車 徒歩20分(約1.3km)

千葉県建築設備高等技術専門校

運営事務局

千葉県水道管工事協同組合
 千葉市中央区中央港2-5-14
 TEL 043-247-7373
 FAX 043-248-4484

賛助団体

千葉県管工事業協同組合連合会
 一般社団法人 千葉県浄化槽協会
 一般社団法人 千葉県空調衛生工事業協会